



済生会ニュース

平成19年7月1日発行 三重県松阪市朝日町一区15番地の6 TEL 0598-51-2626代/FAX 0598-51-6557
<http://www.matsusaka.saiseikai.or.jp>

学会会長を拝命して

この度、第117回日本神経学会東海北陸地方会の会長職を拝命し、去る2007年3月10日（土）に、名古屋国際会議場において成功裏に終えることができました。学会は一年に3回、通常は主に東海北陸地区の各大学神経内科が担当して開催され、従来、学会会長には医学部講座の教授をはじめとして、著名な先生方が名前を連ねています。このように、伝統ある学会の会長に指名されること、言葉では言い表せないくらい大変名誉なことですが、私が現在置かれた立場（人手がなく、長時間診療に明け暮れる毎日）から考えますと、非常に困難であると認識していました。しかし、三重大学神経内科教授 葛原 茂樹先生の御尽力と当院スタッフの御支援もあり、この大役を引き受けるべく一大決心をしました。

学会運営に当たり最も重要なことは、綿密な計画とプログラムの作成でしょうか。演題募集の締め切りはあっても無いようなもので、締め切り日が過ぎてからも多く集まった感があります。分刻みのスケジュールで多忙な診療と、印刷担当者との連絡に時間を費やす日々が続きました。プログラム作成においてミスがないかの確認作業、校正にもかなりの時間をとられました。しかし、出来上がったプログラムを目の前にすると、苦労の賜物のせいか、やっと会長としての実感を自覚できました。

せっかくの機会ですので、本心は地元の松阪市において開催したかったのですが、学会規約により、東海地区の会長は名古屋で、北陸地区は金沢で開催するよう規定されています。今回の会場は名古屋ですが、何とか松阪の雰囲気を出したかったため、プログラムに松阪ゆかりの資料を同封し、すべての会員にお送りしました。松阪市役所観光課から譲り受けたもので、本居 宣長と記念館に関する資料です。さらに学会当日には、会場内で開始前と昼休みの時間を利用して、松阪市の観光PRと、当院のみえPETがん診断センターPRのためのDVDを開始直前まで上映しました。これまで、このようなことをされた会長はなかったように記憶しています。お引き受けした職務には、精一杯の努力をするように心がけ、かつ実践しました。

会員数は概ね700名で、演題のエントリーは62題と、かなりの数に昇りました。いよいよ学会当日です。当院から、近藤医師と、2病棟5階の看護師4名（鶴森課長、稻垣係長、林看護師、藤井看護師）が会場の監督や受付などの業務を手伝ってくれました。多数の著名な先生方と言葉をかわしたり、記念写真を撮るなど、学会の雰囲気を思う存分味わえることは滅多に経験できることではありません。

当日は240名を超える先生方が参加され、演題発表と

済生会松阪総合病院 神経内科部長 坂井 利行
 第117回日本神経学会東海北陸地方会会长



熱心な質疑応答が午後5時頃までなされ、予定時間が大幅に遅れる程、大変な盛り上がりをみせました。また、恒例になりましたランチョンセミナーでは座長も兼任させていただき、京都大学高次脳機能センターから福山 秀直先生（教授）をお招きして、「脳機能画像の最近の話題」について、お話ししていただき好評を博しました。

さて、学会も滞りなく終えることができ、後日、学会関係者や世話人から、今回の学会の感想、評価が届きました。それによると、「大成功だ」、「非の打ち所のない立派な学会だった」などの声が寄せられ、話半分としましても大成功ととらえてよさそうです。と同時に、大変充実した時間を過ごすことができたと思っています。ほとんど一人で準備して、確かな結果を出すことができました。「済生会松阪総合病院 神経内科」は、東海～北陸地方の先生方にしっかりと記憶していただいたようです。

スタッフの皆様や学会関係者、藤森 健而院長、そして葛原 茂樹教授に感謝申し上げます。

追記：最近では、病院や医師がインターネットなどで否応なしに評価され、その結果が雑誌などで公表される機会が増えています。今回は当院神経内科について一件ご紹介いたします。患者20万人アンケートによるオリコン・エンタテイメント「患者が決めたいい病院・2007年版」の近畿・東海版において、頭痛部門で、当院神経内科は第6位にランクされています。三重県内では第1位です。医療水準、医師の説明、スタッフなどが評価の対象になり、総合的に患者様が判断された好ましい結果となりました。また、数少ない「Good Doctor」にも選出されています。このように、「済生会松阪総合病院 神経内科」は安心して受診していただける全国レベルの診療科です。ただし、ある程度（～かなり）の待ち時間はご了承願います。

各科紹介

2病棟4階

係長 松井美貴

～ほめ上手がたくさんいる病棟です～

私たちの病棟は、整形外科と泌尿器科の混合病棟です。この4月より新人6名の仲間が増えました。また、新しい師長にもなり新たな出発を始めたところです。

現在、私たちの病棟では、月に1回の病棟会議でスタッフの良いところを認め合うことを目的に、この1ヶ月印象に残ったほめられたことを発表しあっています。

最も人をほめた回数の多いスタッフには「ほめほめ大賞」が贈られます。(みんなからの拍手です)

「ほめほめ大賞」をもらうためには、まず相手をよく観察すること、そして相手に伝わるようにほめることが大切です。みんな意識しているわけではないようですが、本当に相手をよくみて相手の心に働きかけるほめ方をしています。これは、看護で一番大切な観察力を養うのではないかと考えます。

整形外科は、ご高齢の方も多く整形外科の疾患以外にも多くの疾患を持っていることが多いのですが、なかなか明らかな症状として現れにくく、日ごろの観察力が必要なっています。泌尿器科では、短期

間の入院の方も多く少しの異常も早期発見する観察力が必要なっています。

患者様のちょっとした変化にも気付けるような細やかな観察力をスタッフをほめるという方法で養っています。

しかし、相手をよく観察しても、相手の心に働きかけられるようなほめ方をしないと相手は覚えていてくれません。日々ほめられた体験があると、「こんな風にほめるとうれしいのか」と気付いたり、スタッフ同士がほめあう体験を通して患者様の心に働きかけるコミュニケーション力をつけているようです。

さあ、今月の「ほめほめ大賞」はだれかな？



おくすり通信

済生会松阪総合病院 薬剤部



【今回は睡眠薬についてお話しします】

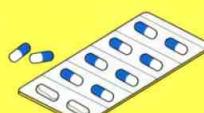
病院で処方される睡眠薬は作用時間によって次の4つに分類されます

超短時間作用型（2～4時間）：ハルシオン®、アモバン®、マイスリー®

短時間作用型（6～10時間）：レンドルミン®、エバミール®

中間作用型（12～24時間）：ロヒプノール®、ユーロジン®

長時間作用型（24時間以上）：ドラール®



※作用時間については目安であり個人によって異なります

入眠障害（寝つきが悪いタイプ）には超短時間または短時間作用型の睡眠薬

中途覚醒（翌朝起床するまでに何度も目が覚める）、早朝覚醒（明け方早く目が覚め、その後眠れないタイプ）には中間または長時間作用型の睡眠薬が主に処方されます。

注意点

睡眠薬をアルコールと併用すると薬の作用が強く出るので、併用は避けてください。

薬の服用後、ふらつく事があるので、速やかに床につくようにしてください。

翌日まで眠気が残るので、車の運転などには注意してください。

●何かご不明な点があれば薬剤部までお尋ねください。

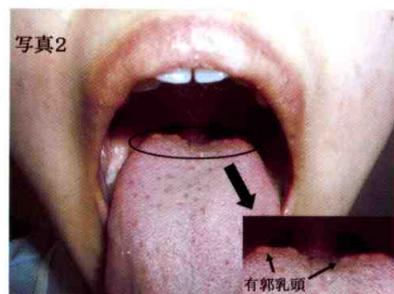
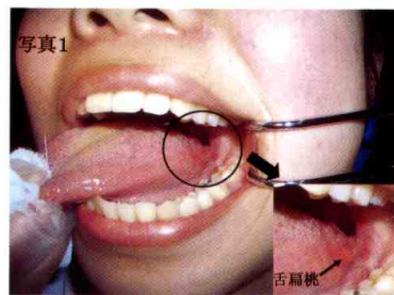


舌がヒリヒリ痛い—舌痛症

口腔外科部長 佐藤耕一

舌痛症では、体にもお口の中にも原因となるような病気が見つからないのに、舌の限られた場所（特に舌の前方と舌のまわり）や舌全体にヒリヒリとしたやけどのような痛みがあります。患者さんによっては、舌だけではなく唇や歯肉にも同じような痛みがあり、さらにはお口の中の乾いた感じがすることもあります。最近、このような症状を訴えて受診する患者さんが増えており、特に40～50歳代の女性の方に多いようです。

神経痛などの神経の病気でそのような痛みが出ていることもあります。神経の病気が原因であることは非常に少ないです。原因としては、不安・心配なことがあって良く眠れない、仕事が忙しくて疲れている、内科でみてもらっている病気（貧血、ビタミンB欠乏症、糖尿病など）、好き嫌いがあって極端に食事がかたよっている、ホルモンのバランスが悪くなっている、などがあげられます。しかしながら、全ての患者さんにこれらのはっきりとした原因があるわけではなく、どちらかと言うと、原因がはっきりとしない患者さんが多いです。いずれにせよ、何かの原因で舌やお口の中の粘膜が傷つきやすくなっていたり、食事によって目に見えない小さな傷がつきやすくなることで、お口の中に入ってくる色々な物の刺激を感じやすくなり、痛みを訴えるようになっているのではないかと考えられています。それとは別に、何か悪い病気があって舌が痛むのではないかと不安になって、鏡で舌を見ると、舌の奥の方に今まで見たことのなかったツツツツを見つけて、ガンではないかと思うことでよけいに痛みが強くなって受診される患者さんもおられます。しかし



ながら、それらは舌扁桃（写真1）や有郭乳頭（写真2）といった誰にでもある正常なものであることがほとんどです。

原因となる病気があれば、まずはそれを治療することはもちろんですが、原因がはっきりとしない患者では、痛みを止めるためのお薬や治療を行ってもなかなか症状が良くなりません。舌痛症では、完全に治してしまうことが難しく、症状

を軽くして、問題なく日常の生活ができるようにすることが治療の目的となります。不安・心配なことがたまっているようであれば、心療内科を受診してみることも良いでしょう。刺激を受けやすくなっているお口の中の粘膜を回復させるための漢方薬・お口の中を清潔にして粘膜の回復を助けるために刺激の弱いうがい薬などを使うと症状の改善に効果的なことが多いようです。ガンではないかと不安があれば、口腔外科や歯科を受診し、悪性の病気ではないことを良く説明してもらうことで不安を取り除くことも良いでしょう。

三重県下初導入3.0T（テスラ）MRI装置について

医療技術部 放射線課 倉野伸治

最近のMRI検査の需要は、日々増えつづけ、現在の当院の1.5T装置1台と0.5T装置1台では予約待ちが1か月近くになっていました。そこで、当院では10年以上使用していた0.5TMRI装置にかわり、撮影時間が短く、より鮮明に撮影できるフィリップス社製の3.0TMRI装置を7月下旬稼働を目標に機器設置工事を行っています。

日本の総合病院で一番利用されているのは1.5T装置です。磁場の強さも強すぎず、撮影法などのソフト面、ハード面が一番充実し、価格が安い利点もあります。



それに比べて3.0T装置の方は磁場が強すぎるため今まででは頭部領域の研究用として使用されていましたが、次第に全身のいろいろな部位に利用できるようになってきました。また将来は3.0T装置が主流になることが予想され、当院では今まで三重県内では、どの施設も導入していない3.0T装置を導入することになりました。

今までのMRI装置同様脳梗塞、脳動脈瘤の検索を目的とした頭部領域、脊椎の椎間板ヘルニア等を目的とした脊椎領域、肩、膝などを目的とした四肢領域や消化器・泌尿器・婦人科領域などに利用できます。信号強度が高くなつたためこの装置の一番有用性があるのは、頭部領域です。頭部MRアンギオグラフィーと呼ばれる頭の血管撮影は、より細かいところまで見えるようになります。しかし欠点もあります。工事現場のような音は今までと同じようにします。又今まで以上に撮影室内への金属類の持込も制限が厳しくなります。体内金属などの影響で3.0T装置では検査を行えない患者様も出てくるかと思います。このように利点、欠点はいろいろありますが3.0T装置と1.5T装置の2台を上手に使い分け、今現在種々のご不便をおかけしている皆様に、より効果的に、より良いMRI画像を提供できるよう、当科一同地域医療に貢献しつづけていきたいと思っています。

平成19年度 糖尿病教室プログラム

済生会松阪総合病院 糖尿病委員会では、糖尿病患者様・ご家族様に糖尿病とつきあっていくための知識を持って頂くために、糖尿病教室を行なっています。

参加者が楽しく学んで、より健康的な生活を実践してもらい、糖尿病に対する不安をなくして、元気になり「こんな話なら聞きたい」「糖尿病に悩んでいる友達を今後の教室に連れてこよう」と患者様が言ってくださるような教室にしたいと思っています。

<年間スケジュール>

- 7月12日 あ～、のどが渇いた！その時、あなたの手には…？～隠れた糖分の話～【管理栄養課】
 - 8月9日 真夏の運動時のポイント【リハビリ課】
 - 9月13日 糖尿病とその合併症について【内科医師】
 - 10月13日 メタボリック・シンドロームと糖尿病【検査課】
 - 10月10日 フットケアについて【看護部】
 - 10月14日 インスリン注射について【薬剤部】
 - 10月13日 口腔ケアの重要性について【歯科口腔】
- 時間：毎回 午後2時～3時
場所：済生会松阪総合病院 2病棟7階 第1会議室
- ★11月17日(土) いちにち糖尿病教室開催予定★
済生会松阪総合病院 糖尿病委員会

看護師募集

看護部理急

癒しの看護



しばらく看護業務から遠ざ

かっている方も、責任をもって、

復帰のお手伝いを
させていただ
きます。



■ 外来診療担当表

(2007年7月1日)

★担当医は変更になることもあります。

- 受付時間 8:00～12:00 (診療科と曜日によって多少変更あります)
- 診察時間 午前9:00～12:00／午後1:30～
- 休診日 土・日曜日、祝祭日、年末年始(12/30～1/3)、創立記念日(5/30)

	月	火	水	木	金
内 科	一診				
	二診	須川	南川	垂見	須川
	三診	保田(午後)	小林	脇田	小林
	四診	森谷	森谷	井口	井口
	五診	清水敦	上村	上村	大学医師(午前)
	六診	垣本		田中淳	坂井正
	七診	中島	清水敦	中島	清水敦
	八診	坂井正	垂見	垣本	保田
外 科	一診	院長	長沼	長沼	田中穂
	二診	田中穂	北川	柏倉	飯澤
	午後		外科医師(肛門・乳腺)		外科医師(肛門・乳腺)
脳 神 經 科	一診	諸岡	諸岡	諸岡	諸岡
	二診	村田浩	清水重	村田浩	石垣
整形外 科	一診	今原	整形外科医師	今原	整形外科医師
	二診	竹上	森本	森本	森本
	三診	植村	竹上	高北	高北
産婦人 科	午 前 一診	高倉	紀之本	高倉	菅谷
	二診	竹内	高倉	紀之本	紀之本
	三診				竹内
	午 後 一診			高倉	
	二診		手術		手術
	三診			乳房外来	
ART・ 生殖医療 センター (予約制)	午 前 一診再診	菅谷	菅谷	菅谷	菅谷
	二診再診	竹内	竹内	竹内	竹内
	午 後 一診新患(予約)	菅谷		菅谷	
	二診新患(予約)	竹内	手術	竹内	手術
	夕 診 一診再診	菅谷		菅谷	菅谷
	二診再診	竹内		竹内	竹内
小児科		老谷	老谷	老谷	老谷
眼 科	一診	宮村昌	交代	宮村昌	宮村昌
	二診	江崎		江崎	江崎
	三診	山川		山川	
皮膚科		垂水	垂水	垂水	垂水
耳鼻咽喉科		大学医師		大学医師	
泌尿器科	一診	森	小川	森	柳川
	二診(新患)	小川	柳川	金原	小川
神経内科		坂井利	近藤	坂井利	近藤
麻酔科		宮村と	清水美	宮村と	清水美
放射線科	寺田	野本	加藤幹	中川	野本
	村田知				
口腔外科	佐藤	佐藤	佐藤	佐藤	佐藤
	朴	朴	朴	朴	朴